

長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金 報告書

2023 年 10 月 3 日

国際経営学部国際経営学科 4 年

GAO LULIN

はじめに

まずは、国際経営学科の先生方、国際センターのスタッフの方々、そしてお世話になったすべての方々に感謝申し上げます。この度、アメリカのパデュー大学の交換留学プログラムに参加し、長期留学の機会を与えていただき、長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金をいただくことができ、大変光栄に思っております。この度、無事に1年間の交換留学プログラムを終了することができました。留学中のサポートだけでなく、留学を終えた後もお世話になった中央大学の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は2022年8月から2023年5月までの2学期をアメリカのパデュー大学で交換留学をしました。まず、パデュー大学を選んだ動機について話したいと思います。ボランティア校を選ぶ際、3つの選択肢があったのですが、私は迷わずパデュー大学を選びました。一番の理由は、COVID-19の影響でGS1の現地調査のために渡米する機会がなかったからです。そのため、GS1のコースはオンラインで受講しました。アメリカの大学で勉強することにとっても興味があったので、実際に体験できないこと

を補うために、アメリカの大学への交換留学を選びました。次に、パデュー大学は長い歴史と評判のある学校です。コンピューター・サイエンスや農学の分野で高い評価を得ていることで知られているだけでなく、Daniel School of Businessは、優秀な教授陣を擁し、全米の学部ビジネススクールランキングで21位にランクインしている。Operations Management、Quantitative Analysis、Supply Chain Managementは、ランキングのトップ10に入る専攻である。パデュー大学を卒業した従兄弟を通じて、パデュー大学が素晴らしい学業成績を収めていることを知り、この大学への興味がさらに高まりました。次に、勉強、生活、社会活動の面で私が経験したことを詳しく述べます。



The Campus of Purdue University

勉強について：

交換留学中はすでに3年生なので、交換留学終了後は就職や卒業に向けて万全の準備をしたいと考えています。そのため、パデュー大学ではできるだけ多くの科目を履修するつもりです。まず、内定者の連絡を受けたパデュー大学の担当者は、内定者にメールで連絡を取った。内定者にはJ1ビザの手続きについて伝えるとともに、担当者からは正式な授業開始の約半年前にコース選択についての説明があった。その際、Academic Advisorが単位数の上限だけでなく、コースの選び方についても指導してくれた。パデューの単位上限は通常1学期5科目。週間スケジュールによって、各授業の長さは異なります。月・水・金の授業は通常50分、火・木の授業は通常75分です。コースには通常、2回の中間試験と期末試験が含まれる。試験は通常1ヶ月間隔で行われ、ペーパーまたはエッセイ形式となるため、事前に集中して学習し、復習のペースをつかむ必要がある。中央大学のカリキュラムとは異なり、アメリカの大学の多くのコースでは、教室での学生の参加やディスカッションが重視されます。事前に教材を読み、クラスでのディスカッションや交流に参加できるように準備しておくことが大切です。私は多くのコースを選んだので、注目のコースをいくつか詳しく紹介する。



Rawls Hall and Krannert Building

まず、「Strategic Management」と「Marketing Management」である。この2つの科目は中央大学で既に履修したことがあったが、別の大学での教え方が私に新たな興味を抱かせた。中央大学の授業スタイルとは異なり、パデュー大学の教授陣はケーススタディとクラスでのディスカッションに重点を置いている。戦略経営コースでは通常、理論の授業の後にケーススタディの資料が公開されるが、これはHarvard Business Reviewのもので、学期が始まる前に購入する必要がある。資料を読んだ後は、前の理論の授業で得た知識をもとに、現実のケースに即してディスカッションが行われ、教授は教室でのディスカッションへの積極的な参加を促し、最終試験の重要な要素となる。マーケティング・マネジメントのコースでは、中央大学のコースよりも数学的な計算に重点を置き、マーケティングの理論的な知識を紹介するだけでなく、教授が合理的な価格の設定や商品を束ねて販売するための戦

略の立て方を教えることにも重点を置く。どちらのコースにも個人とグループでの課題があり、チームワークを養うことはアメリカの大学での勉強において非常に重要である。

次に、パデュー大学Daniel School of Businessが誇る Supply Chain Managementコースです。このコースでは、オペレーションや物品管理の基礎を学ぶだけでなく、配属されたグループに分かれて学校周辺の店舗を訪れ、経営効率を上げるための勉強をする現場実習が義務付けられている。私のグループは、学校の近所にある大人気のレストラン「chick-fil-a」を見学の対象に選んだ。店長と話し、同意を得た後、1時間あたりの客数、客が注文してから料理を受け取るまでの時間、店員の対応時間などのデータを記録した。その後、授業で学んだことをもとに、レジとバック・オブ・ハウスを計画し、最大の効率を確保するために必要なスタッフの数を計算した。最後に、私たちは学期末までにクラスで結果を報告した。このWorkshop形式のコースデザインはとても斬新で、知識を現実の問題に応用し、顧客とコミュニケーションをとる能力を養うことができた。

最後に、「Consulting Tools and Skills」コースを紹介したい。このコースは、私がパデュー大学での交換留学中に受講したコースの中で最も興味深いもののひとつです。その中核は、クライアントの要求を理解し、クライアントを説得し、一貫したアドバイスを提供する方法など、学生の「ストーリーテリング」スキルを開発することである。春学期を通して、私たちのグループは6つの事例研究を分析し、発表することが求められた。このコースでは多くのケーススタディが使用され、現実のビジネスケースを深く分析することで、様々な業界の課題や機会について理解を深めた。第二に、コンサルティング会社の働き方をシミュレーションする

ことで、実際のビジネス環境を深く理解することができ、クライアントとのコミュニケーション、要件分析からソリューション開発まで、コンサルティングのプロセスに積極的に関わることができた。市場調査とレポート作成もこのプロジェクトの重要な要素で、教授の指導に従い、コンサルティング・ツールを使って業界レポートを検索し、内容を絞り込み、チーム・メンバーと協力してソリューション・レポートを作成しました。また、報告会や評価セッションも私に大きな影響を与えました。自分の仕事の結果を教授や仲間に発表し、評価やフィードバックを受けることで、コンサルティング・スキルを継続的に向上させることができました。



The Classroom of Consulting Tools and Skills

キャリアについて

米国でのインターンシップ・プログラムに挑戦することに興味があるなら、交換留学の前に十分な事前準備が必要です。 交換留学生は通常J1ビザを持っていますが、アメリカでは有給での就労が認められていないことを考慮し、事前に交換留学先の大学の責任者に連絡を取り、AT(Academic Training)の申請方法を確認する必要があります。また、アメリカの大学では通常年に2回、学内でJob Fairを開催しています。 Job Fairの通知を受け取ったら、求人会社の採用基準リストを確認する必要があります。 F1ビザのCPT(Current Procedural Terminology)とOPT(Optional Practical Training)のみを受け付けている会社もあれば、Academic Trainingも受け付けている会社もあるので、事前にしっかりと準備をしておく必要があります。最後に、アメリカの大学でも日本の就職説明会と同様にドレスコードがあるので、ビジネススーツは必須です。



The Fall Job Fair

生活や社会活動について

パデュー大学にはPASSPORTと呼ばれる交換留学生のための組織があり、入学後に世界中の交換留学生にお互いを知る機会を提供する「Call Out」イベントを開催し、参加者にランダムにネイティブアメリカンの大学生パートナーを割り当て、勉強や生活をサポートします。さらに、さまざまな国の学生が学生クラブを組織している。例えば、パデュー大学では日本人学生や日系アメリカ人学生がPurdue Japanese Student Associationというクラブを結成しています。彼らは定期的に

様々な活動やパーティーを企画し、日本文化に興味のある大学生を歓迎しています。そこでは、日本からの交換留学生在が故郷の感覚を見つけることができるかもしれません。



The Tea Ceremony

おわりに

米国パデュー大学での交換留学は、学問的な知識を得る機会を与えてくれただけでなく、多文化主義を体験し、実践的な仕事のスキルを身につける機会も与えてくれました。これは、大学生活において非常に重要で貴重な経験であったと思います。このような機会を与えてくださっただけでなく、長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金を支援してくださった国際経営学科の先生方、国際センターのスタッフの方々に心から感謝申し上げます。